

**新型コロナ対策費を含む
補正予算を慎重審議**

開会日には、新型コロナ対策を軸とした総額約27億926万円の一一般会計補正予算(第8号)が提出されました。本予算案は、新型コロナ対策を拡充する経費(左表参照)をはじめ、各種福祉サービスの利用増加に伴う給付費の追加や、人事院勧告などに準拠した議員および職員の期末手当の減額に伴う人件費の補正などが盛り込まれました。

また最終日には、国の特別定額給付金の対象とならなかった新生児などに10万円を給付する市独自の新生児等特別定額給付金の新設に伴い、約2億4129万円の一般会計補正予算(第9号)が追加提出されました。

同日に行われた討論では、感染症対策の速やかな実施を求める意見などがあり、採決の結果、11月通常会議で提出された一般会計補正予算案は、いずれも全会一致で可決しました。

クローズアップ

**新型コロナ対策に関連する
一般会計補正予算**

●補正予算(第8号)の主な内容

- 市民センター窓口受付システム等導入 ……66,556千円
- 高齢者施設等入所予定者(うち希望者)のPCR等検査費用助成 ……3,000千円

- PCR等検査(保険適用)の実施医療機関拡充に伴う経費の追加 ……60,272千円

- 市内路線バスの維持・活性化への支援 ……122,927千円 など

●補正予算(第9号)の内容

- 市独自の新生児等特別定額給付金の給付 ……241,292千円

予算以外の主な議案

◇大津市・志賀町合併建設計画の変更

現在推進中の事業や継続協議が必要な事業があるため、令和2年度末で満了となる計画期間を5年延長し、引き続き事業を推進します。

◇国民健康保険条例の一部改正

平成30年度の税制改正による給与所得控除と公的年金等控除を10万円引き下げ、基礎控除を10万円引き上げる法令改正に伴い、現行保険料の負担水準に關し、意図しない影響や不利益が生じないよう国民健康保険料の軽減判定所得の基準を見直します。

11月補正予算

◇膳所すこやか相談所電話回線増設経費

新型コロナ拡大による電話相談件数の増加を受けて、電話回線を増設

◇湖都大津まちづくり寄附金ふるさと納税の増加に伴う補正

本市へのふるさと納税による寄附件数の増加に伴い、返礼品送付やクレジット決済などに係る経費を増額し、併せて湖都大津まちづくり基金積立金を増額

◇学校ICT環境整備事業の充実

令和3年度の新学期のクラス編成に対応したLANおよびテレビ配線の整備や、感染症対策に伴う特別教室への大型テレビ配備など、小中学校のICT環境の整備に要する経費を増額

市政 **ピフオーアフター**
～議員の質問とその後を追跡しました～

**コロナ禍の
市独自の経済的支援**

議員の質問

国から支給される一律10万円の特別定額給付金は、令和2年4月27日時点で住民基本台帳に登録されていることが条件だが、他都市では対象外となる新生児分も独自支給する例があるため、本市でも子育て世帯の安心のため独自の支援策を導入すべきでは

市の答弁

限りある財源の中で、まずは本主に経済的に困窮されている方を優先した施策を実施した上で、本市独自の生活・子育て対策の中でその是非を判断していく。

実現!!

本通常会議において、令和2年4月28日以降に出生した新生児などを対象とした本市独自の給付金に係る経費が予算措置されました。(対象者1人につき10万円)

**浄水発生地の
植栽用土壌への活用**

議員の質問

地域循環型社会の実現に向け、琵琶湖などに植生する水生外来生物の堆肥化を促進し、浄水過程で発生する土と混合した植栽用土壌として再利用し、有効活用すべきでは

市の答弁

水生外来生物の堆肥化実験と浄水発生土の再利用に各部署で取り組んでいるところであり、これらを植栽用土壌として有効活用することは有意義であるため、教材としての活用や地域住民への配布などの活用方法を検討の上実施していく。

実現!!

市役所玄関前および陸上競技場前花壇に琵琶湖の水草と浄水発生土から作った植栽用土壌を活用した花の植栽が行われました。今後教育活動の一環として、市内の学校園への無料配布などが行われます。

公立児童クラブの改修

議員の質問

多くの公立児童クラブで、児童数に対するトイレ数の不足や、男女別のトイレの未整備など、改善が必要な状況が生じているため、計画的に改修を進めていくべきでは

市の答弁

共用トイレを男女別にすることを優先し、児童数に対してトイレが少ないクラブから計画的に増設していく。

実現!!

本通常会議において木戸・野田児童クラブのトイレ改修経費が予算措置されました。この改修の実施によって、全ての公立児童クラブで男女別トイレの整備が完了します。

